



警察の乗り物

事件(じけん)や事故(じこ)をすばやく解決(かいけつ)するために、警察(けいさつ)では、いろいろな乗(の)りものを使(つか)っています。乗(の)りものの役割(やくわり)をおぼえてみよう。



パトカー

みんなの町(まち)が安全(あんぜん)かパトロールします。110番(ばん)が入(はい)ってきたら、事件現場(じけんげんば)に一番(いちばん)にかけつけます。また、車(くるま)などで逃(に)げる犯人(はんにん)を追いかけてつかまえます。



ヘリコプター

空(そら)からパトロールしたり、海や川で事故(じこ)にあった人をさがしたり、助(たす)けたりします。また、車(くるま)でにげる犯人(はんにん)を空(そら)からおいかけることもあります。



白バイ

スピード違反(いはん)をする車(くるま)に注意(ちゅうい)を与(あた)えます。また、交通事故(こうつうじこ)が起(お)こったら、一番(いちばん)に現場(げんば)にかけつけて、事故(じこ)の様子(ようす)を無線(むせん)で知(し)らせたりします。

けいびてい 警備艇

外国(がいこく)から船(ふね)を使(つか)って、法律(ほうりつ)で禁(きん)じられている物(もの)を運(はこ)び込(こ)んだり、パスポートを持(も)たずに日本(にほん)に入(はい)ってくる人(ひと)たちを取(と)り締(し)まります。また、水(みず)の事故(じこ)を防(ふ)せぐためにパトロールをしたり海(うみ)におちた人を助(たす)けたりさがしたりします。



こうつうあんぜんきょういくしゃ
交通安全教育車(こう)～スマイル号(ごう)～
車を運転(うんてん)する人が、画面(がめん)をみながらいろいろな場面(ばめん)の運転(うんてん)を体験(たいけん)することができます。